

氏名	山 根 弘 路
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第1693号
学位授与の日付	平成10年3月25日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学(二)専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Small Cell Lung Cancer can Express CD34 Antigen (肺小細胞癌におけるCD34抗原発現の検討)
論文審査委員	教授 中山 睿一 教授 赤木 忠厚 教授 清水 信義

学位論文内容の要旨

CD34 抗原は、ヒトの造血幹および前駆細胞の信頼性の高い表面マーカーとして頻用されている。一般的に、CD34 抗原の発現は、造血器腫瘍か内皮系腫瘍を除けば、固形腫瘍ではみられないという。したがって、固形腫瘍に対する大量化学療法を可能にする方法として自己造血幹細胞移植(AHSCT)を行う場合、CD34-positive selection は腫瘍細胞の ex vivo purging の方法として有用と考えられる。そこで、肺小細胞癌に対する AHSCT の臨床応用をめざして、CD34-positive selection の有用性を明らかにするために肺小細胞癌細胞における CD34 抗原の発現の有無を検討した。Flow cytometry を利用する肺小細胞癌培養株化細胞の検討では、検索した 11 株化細胞中 2 株で CD34 抗原の発現が認められた。さらに、RT-PCR 法を用いて CD34 抗原の mRNA レベルでの発現を検討したところ、CD34 抗原の発現に一致して CD34 抗原をコードする遺伝子発現が確認された。したがって、肺小細胞癌に対する AHSCT を実施する場合には、腫瘍細胞上に CD34 抗原の発現の無いことを確認する必要性が示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、造血系幹細胞のマーカーである CD34 の肺小細胞癌における発現を検討したものである。この結果、11 の肺小細胞癌細胞株のうち 2 つの細胞株に RT-PCR 法およびフローサイトメトリーで発現を認めた。この事実は、肺小細胞癌患者の自己造血幹細胞移植による治療において、予め CD34 抗原の発現を検討することの必要性を示唆する重要な知見であり、価値ある業績であると認める。よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。